



**岩内町立岩内第一中学校**

**目指す生徒像**  
 自ら考え正しく判断する人  
 自ら学び創造性に富む人  
 自ら鍛え粘り強く実践する人

本年度の前期学校評価の集計結果をお知らせします。回収率約92%と多くの保護者の皆様にご回答をいただきました。ありがとうございました。集計したデータのうち、教職員自己評価・保護者評価・生徒評価の肯定的回答、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、7割に満たないものを要改善評価項目としました。この結果をもとに、分掌部会・学年部会で検討を重ね、職員会議で全体確認をした後のまとめを学校だよりとしてお示しします。今後とも、信頼される学校づくりを目指し努力を重ねてまいります。保護者の皆様の益々のご理解とご協力をお願いいたします。

本年度の重点教育目標 「一中スマイル」「学びを大切にしよう」	
①「自分の将来を設計する力を育てる」 ～教育課程の効率的な編成・実施等～	④「自らの判断で活動できる力を育てる」 ～自己決定力の育成～
②「自ら学び、主体的に発信するための知識・技能を育てる」 ～主体的な学習習慣と、基礎・基本等の確実な定着～	⑤「職員の心身の安定を図る組織をつくる」 ～個の力が活かされる組織力～
③「自信が持てる心を育てる」 ～自己肯定感、自己有用感の高揚～	⑥「地域連携が図られる環境をつくる」 ～小中、中中連携の強化～

**令和5年度 岩内第一中学校 前期学校評価**

8割以上を   
 7割未満を  で表しています

	教職員自己評価	評価	保護者評価	評価	生徒評価	評価	成果と課題
自分の将来を設計する力の育成	私は、総合的な学習の時間で、生徒が自分の将来や職業について考える場面の設定を意識して取り組んでいる。	80%	お子様は、学校生活の中で、自分の将来や職業について考えられるよう成長してきている。	54%	総合的な学習の時間で、自分の将来や職業について考える場面がある。	82%	・昨年度より、各学年系統性をもった教育課程の編成を行っており、生徒と教職員の数値が概ね目標値を達成している。保護者の数値が7割未満の評価については、情報発信を含め、キャリアパスポートの活用頻度を増やしなが、生徒が将来を考える場面設定や将来に必要なだろう資質と能力の定着を更に図ってきたいと考える。
	私は、特別活動で、キャリア形成と自己実現を図ることを意識して取り組んでいる。	87%	お子様は、学校生活の中で、自分の生活や将来を考えられるよう成長してきている。	66%	学級活動や生徒会活動、学校行事で学んでいることが、自分の生活や将来に生きるだろうと思う。	85%	
	私は、「資質・能力の三つの柱」「カリキュラム・マネジメント」など、新しい学習指導要領における重要な事項を意識して教育活動に取り組んでいる。	73%	お子様は、できるようになったこと、学んだことに自信を持ち、日常生活に生かそうとしている。	76%	何ができるようになるか、何を学ぶか、どのように学ぶかを考えながら授業に臨んでいる。	81%	
文化と主体的に自ら進んで取り組むための知識・技能の育成	私は、生徒が自ら学習に向かうとする姿勢作りと、生徒の学習用具持ち帰りの指導に努めた。	87%	お子様は、自分から家庭学習に取り組んだり、家庭学習の内容を考えて家庭に持ち帰る学習用具を決めたりしている。	55%	自分から学ぼうとして授業に臨んだり、家庭学習の取組を考えながら学校に置いて帰る物を持ち帰る用具を決めたりしている。	80%	・家庭学習の習慣化に向け、今後も各教科からの宿題提示や家庭学習ノートの工夫をしながら継続していきます。また、生徒が先生方へ質問しやすい雰囲気作りをし、質問できる時間の確保もしていきます。 ・個に応じた指導については教科によってTTの充実や習熟度別学習も検討を進めていきます。
	私の校内研修の取組は、自分自身の授業改善に直結している。	87%					
	私は、基礎・基本の定着のために、個に応じた指導等を工夫しながら教科経営をしている。	87%	お子様は、学校の授業等において、個に応じた指導を受けていると感じる。	47%	授業や放課後学習などにおいて、わからないことなどを先生に質問しようと取り組んでいる。	53%	
自信がもてる心の育成	私は、自己評価・他者評価などを通し、自己を振り返る学年・学級経営計画の立案に努めた。	73%	学校は、お子様のよさや仲間のよさを認め合う教育活動を位置付けている。	75%	学校生活を通して、自分のよさや友だちのよさを認め合う場面があると感じる。	93%	・学校での取組の成果を生徒が概ね実感している結果と考えられる。家庭と連携した取組になるよう、学校での取組を家庭に発信したいと考えている。 ・「自分には良いところがあると思う。」の生徒評価は、昨年度と比較し、若干下がったものの大半の生徒が高く評価している。今後も成功体験をさせる場面を多く設定するなどの取組を継続していきます。
	私は、授業や行事など、日常生活に直結した指導計画の立案に努めた。	87%	日常の授業や学校行事を通して、お子様の成長を感じることができる。	88%	学校生活を通して、自分やクラスの成長が感じられる。	86%	
	私は、内容項目を押さえた道徳の授業や日常の道徳教育を行った。	87%	学校生活を通してお子様の道徳性の向上を感じる。	80%	道徳の授業や学校生活を通して、自分の心が成長していると感じる。	85%	
	私は、生徒の成功体験の機会設定を行うことによる自己理解を深めさせる指導に努めた。	93%	お子様は、自分に自信がもてる心が備わってきている。	69%	自分には良いところがあると思う。	75%	

	教職員自己評価	評価	保護者評価	評価	生徒評価	評価	成果と課題
自らの判断で活動し、達成感を 実感できる機会の充実	私は、校外外における「一中生挨拶」の指導・強化に努めた。	93%	お子様は、校外外で進んで挨拶をしている。	82%	校外外で積極的に挨拶をしている。	86%	・左記3つの項目については、3者8割以上と高い評価となっているが、今後も継続指導を推進していきます。 ・相談しやすい環境づくりには生徒と教師の信頼関係が重要です。信頼関係は時間をかけて構築されます。生徒と教師間が上手くかみ合わないことも教育現場では多々あることで、そういった意味でも全職員で生徒の声にしっかりと耳を傾け、信頼関係づくりにも努めてまいります。
	私は実践に導く生徒の自己判断・自己決定の機会設定に努めた。	93%	お子様は、自分で考え、物事を判断している。	82%	物事を決めるときは、自分の考えで判断している。	87%	
	私は、いじめを発生させない未然防止の取組に努めた。	93%	お子様は、いじめは絶対に許さないという考えで生活している。	93%	いじめは絶対に許さないという考えで、思いやりの気持ちを大切にしながら毎日を過ごした。	96%	
	私は、相談しやすい環境を作る等、生徒が安心して毎日を過ごせるよう努めた。(不登校への対策も含む)	87%	学校は、相談しやすい環境を作る等、生徒が安心して毎日を過ごせるようにしている。	61%	悩みがあれば先生方に相談するなどし、学校へ安心感をもつことができている。	64%	
教職員の心身の充実	私は、組織としての各種業務運営を確立させることによる個人負担の軽減に努めた。	60%					・教職員の業務は多岐にわたり、組織的な取組をしつつも負担軽減につながっていないのが現状。そのため、組織的に業務分担内容を見直し更に明確にする必要がある。 ・小中、中中連携については、義務教育学校設立に向けた活動が職員全体のものになるように周知徹底を継続する。
	私は、各種業務のPDCAサイクルの徹底に努めた。	80%					
	私は、小中、中中の連携による体制強化に努めた。	67%					
働き方改革につながる 地域連携	私は、各教育活動の教育課程への位置付けについてその意義を理解し、指導に努めた。	93%	学校の各種取組は、その目的や関連性が理解しやすい。	66%	学校の取組は、目的やつながりがわかりやすい。	81%	・現在、地域の人材を活用し、授業を始め、部活動等に協力してもらっている場面を多く作っている状況です。今後も学校運営協議会の活動の中で、地域との関係を更に構築し、人材や資源を生かしながら地域に開かれた学校づくりを目指します。
	私は、町教委の「部活動指導のガイドライン」に準じた部活指導に努めた。	93%					
	私は、学校運営協議会(CS)を活用するなど地域人材の活用に努めた。	53%	学校は、学校運営協議会を活用するなど、地域人材の活用に努めている。	45%	地域の方をはじめとする外部の方々との接する機会がある。	69%	

#### その他のご意見に対する学校の見解

- 【授業に関するご意見をいただきました。】⇒生徒が授業中でも質問のしやすい環境づくりや授業の進め方を今後も検討していきたいと思っております。
- 【長期休業等、勉強会を増やしてほしいというご意見をいただきました。】⇒現在は、授業以外に定期テスト前に学習会を2日～3日程度の放課後学習を実施し、長期休業中(夏冬の両期間)に関しては2日間、2時間の学習会を実施しております。また、家庭学習についても毎日の取組を促し、週1回提出をさせている状況です。特に学習会については強制ではなく、自由参加になっているため、家庭でも参加するように声掛けをしていただきたいと思いますと考えています。
- 【部活動に係るご意見をいただきました。】⇒チーム力の向上をはじめ、各種大会やコンクール・作品展へ向けて計画的に各部とも日程を組んでいます。その中には平日・休日ともに1日は基本的には休養日となっています。また、部活動参加については家庭の事情等で自由に休むことも可能です。部活動の基本目標には自主性の育成や自主的な活動の充実を図るという狙いがあります。学校としては自己研鑽やチーム力向上に向けて前向きに取り組めるよう指導していますが、ご家庭でも生徒のやる気を促していただけるようご協力をお願いしているところです。
- 【部活動の顧問配置(経験者の優遇)にかかわるご意見をいただきました。】⇒可能な限り顧問の配置については配慮していますが、必ずしもその競技の経験者が顧問になるとは限りません。顧問も工夫しながら指導に当たっていますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 【教職員の生徒に対する対応等についてご意見をいただきました。】⇒ご意見を参考に、今後も生徒の声にしっかりと耳を傾け、優しさや厳しさの両面を大切にしながら信頼関係づくりに努めていきます。そして、保護者の皆様のご理解ご協力を得ながら学校という集団生活の中でも、すべての生徒が安心して過ごせる学校作りを目指していきたいと思っております。
- 【熱中症対策等、エアコン設置についてご意見をいただきました。】⇒今年度の長い猛暑日を見ると、生徒の健康等を考慮し、町内全小中で町教委と相談しながら検討していきます。
- 【ホームページをもっと有効活用してほしいというご意見をいただきました。】⇒できる限り、開かれた学校を目指して発信をしていきたいと考えておりますが、年度当初に各ご家庭に確認をさせて頂いた、学校HPへの掲載について賛否両論あるため、個人情報の取扱いについては学級全体の様子やグループ活動、作品・表彰等の写真掲載を制限しておりますのでご理解いただきたいと思います。
- 【習熟度別学習を取り入れてもらいたいというご意見をいただきました。】⇒教職員の人数の関係で、すべての教科での習熟度別学習を行うのは難しいですが、教員を有効に活用し、それぞれのレベルに沿った指導を行うよう心掛けていきます。
- 【今年度のように学校の意思、考え方の提示について、今後も示していただきたいというご意見をいただきました。】⇒今後もグランドデザインをはじめ、生徒指導に係る対応等についても、保護者や地域に明確に示していきたいと考えています。
- 【登下校中のネーム着用についてご意見をいただきました。】⇒登下校中のネームの着用に関しては、早急に対応したいと思います。
- 【スマホやSNSの使用について、学校側の指導強化についてご意見をいただきました。】⇒ネットモラル教室で注意喚起を行ったり、各学年で長期休暇前などことあるごとに呼びかけを行っています。しかし、なかなか徹底しきれない部分もありますので、各ご家庭でも引き続きご指導していただきたいと思います。また、学校便りや学級通信等でも継続して注意喚起を行っていきたく考えています。
- 【生徒1人1人が周囲の人に(肯定的に)関心を持つ事を指導して欲しいというご意見をいただきました。】⇒現代の生徒の課題でもあると考えます。学校全体で日常の指導や行事での指導を通して考えさせていきたいと思っております。
- 【アンケートに係るご意見をいただきました】⇒学校評価アンケートについては、現在、記名式の形で実施しております。以前は無記名で実施しておりましたが、幾度にもわたる教職員による話し合いと当時のPTA役員からいただいた意見をもとに、今の形になっています。それぞれのメリットとデメリットがありますのでご理解ください。なお、アンケートでいただいたご意見に対しては、誠意をもって対応させていただきます。学校は保護者の皆様のご理解ご協力が何より大切と考えていますので、気になることがございましたら、お気軽にご意見、ご相談いただければ幸いです。